

国際交流・協力に関する情報誌

いちやり場通信

No.69 June 2017

発行者

(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団

Okinawa International Exchange &
Human Resources Development Foundation

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-2-16

TEL:098-942-9215 FAX:098-942-9220

<http://kokusai.oihf.or.jp>



平成29年度ウチナーンチュ子弟等留学生受入事業*



本年度は、アメリカ・カナダ・アルゼンチン・ブラジル・ボリビア・ペルー・中国・台湾の8カ国から計14名のウチナーンチュ子弟等留学生を受け入れています。

4月14日には、富川副知事を表敬訪問し、それぞれ日本語による自己紹介を行い、将来の夢や留学にかかる意気込みを語りました。富川副知事からは、「沖縄の文化や歴史、そして方言（しまくとぅば）もぜひ勉強してください」「自身のルーツ探しも頑張ってください」などと激励のお言葉を頂きました。子弟等留学生は、県内各地の大学で日本語以外にも、沖縄の文化・歴史、それぞれの専門分野について学ぶ他、三線製作や太鼓製作、県内企業研修を予定しています。

*沖縄県委託事業



特集レポート： 災害時外国人支援サポーター養成講座を開催

平成28年3月18日に沖縄県と当財団との間で「災害時における外国人支援に関する協定」を締結し、万一の大規模災害発生の際、外国人の被災状況及び避難場所での情報収集や多言語による災害情報等の翻訳発信を当財団が担うことで、外国人がことばや文化の違いにより避難所で孤立することのない支援体制の整備を進めております。その一環として、大規模災害発生時に財団が立ち上げる「多言語支援センター」と協力しながら、避難所巡回を行い外国人の被災状況に関する情報収集や、ライフラインの多言語化及び発信などを担う「災害時外国人支援サポーター」を育成することを目的に、全5回に渡り災害時外国人支援サポーター養成講座を実施し、今回42名が受講されました。

本養成講座の趣旨や大規模災害発生時のサポーターの派遣要請の流れについて確認した第1回以降、様々なテーマについて参加者とともに考えました。「災害時における心のケア」というテーマで第2回の講義を担当された国立病院機構琉球病院の大鶴先生からは、何よりも被災者に寄り添い「傾聴する」ことの大切さや、先生自身が東日本大震災や熊本地震でのDPAT隊員としての活動された経験談が語られました。気象庁沖縄気象台の城間康司先生からは、災害時外国人サポーターとして学んでおきたい沖縄県の『地震や津波』について、ご講義いただきました。警報発令の手順や、沖縄は決して地震とは無縁である地域でないことを学んだ他、50 cmの津波であっても、その威力によって大人でも耐えられない映像が流れると、参加者からどよめきが起きていました。



第1回講座の様子



第2回講座の様子

第3回は、大東文化大学講師の前田先生に「災害時に役立つやさしい日本語」というテーマでお話して頂きました。情報をシンプルにしたり、必要に応じて外国人の方々が、災害時特有の用語を理解できるよう、情報を足したり、引いたりするなど普段私たちが聞き慣れている情報を「やさしい日本語」にする作業は、正直想像以上に難しい印象を受けました。「トピック提示」や「行動指示」またどうして行動しなければならないかを説明する「理由説明」を含まなければならないなど、外国人が情報を理解するために、幾度となくステップを踏んで「やさしい日本語」にしなければならないことを学びました。

第4回は、参加者が主役となり、那覇市消防局の宮平消防士長と津波古消防士長のファシリテーションの元、沖縄でマグニチュード9.0が起きたと想定し避難所運営ゲーム（HUG）を行いました。受講者からは、「ゲームとはいえ、3時間弱での訓練でもたくさん気を遣い、途中パニックになってしまった」「実際に沖縄で発災した場合、1日、または1週間ぐらい対応しなければならない。想像もつかないことが起こるかと思うと怖い」などの感想が寄せられました。

最終回はまとめの回として、復興庁の復興推進参与でいらっしゃる、（一財）ダイバーシティ研究所の田村代表理事をお招きし、「災害時における外国人支援～これまでの災害時対応とこれから～」についてご講演いただきました。阪神淡路大震災や東日本大震災の現状と課題に焦点をあて、避難所に避難した後、劣悪な避難所運営により被災者が亡くなることの事例や、被災者と支援者の視点のズレにより、必ずしも、被災者が必要とする情報や物資が行き渡らない事例などが紹介されました。また、災害時における外国人支援には「ストック情報」と「フロー情報」に着目することが必要で、普段私たちが当然だと思っている情報（ストック情報）は、必ずしも全ての外国人が持っているわけではない、むしろない事を前提に情報提供すべきということを学びました。

今回受講された皆さまや講師の皆さま、実施へのご協力、ありがとうございました。



避難所運営ゲーム（HUG）の様子



第5回講座の様子

【沖縄県の多文化共生社会の実現に向けて①】 外国人のための防災ハンドブックを制作！

平成28年12月末現在の法務省のデータによると、沖縄県内の在住外国人は、国籍116カ国・14,000人を越え、地域住民とともに居住しています。その一方で、外国人の方は地震を経験したことのない方や、大規模災害時に何をしたらよいかわからない人も少なくありません。そのような課題に取り組むべく、気象庁沖縄気象台や総合事務局、那覇市消防局等からの有識者を交えた運営検討委員会を重ね、外国人住民のための防災ハンドブックを制作しました。

この冊子は、日本語・英語・中国語（簡体語・繁体語）・韓国語で制作されており、自助・共助の力を高めるための一助となるよう、家庭や地域での日頃の備え、地震・火災・風水害等が発生した時のそれぞれの対策、避難する際の留意点、避難施設の一覧や市から発信する様々な防災情報の入手方法など、幅広い情報を掲載しています。

ご家族や地域の皆さまと、防災について話し合いをする際にも、是非お役立てください。

★ハンドブックは、ホームページからダウンロードできます★

外国人住民のための 防災ハンドブック



公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団

【沖縄県の多文化共生社会の実現に向けて②】 「おきなわメディカルインフォ」を刷新！

県内の在住外国人が地域医療を受診する際、「ことばの壁」によって不安を感じることはないよう、多言語により対応することができる県内の医療機関をまとめた「おきなわメディカルインフォ」を刷新し、ホームページに掲載しました。

新しい「おきなわメディカルインフォ」は、検索機能を備えGPSも対応しているため、現在地から多言語対応することのできる最寄りの医療機関を検索することができます。また、スマートフォンにも対応しています。便利になった「おきなわメディカルインフォ」を是非ご活用ください。

Okinawa Medical Information
沖縄県外国語対応医療機関

平成29年度日本語読み書き教室を開講

本年度も、当財団にて週1回の日本語読み書き教室を実施しております。県内在住外国人の方々を対象に日本語の読み書きを中心とした講座を無料で提供しています。定員（20名）に達するまで随時募集しており、見学も可能となっておりますので、ご興味のある方は、ぜひ当財団までお問い合わせ下さい。



日程：毎週金曜日（祝日を除く）19:00～21:00
場所：沖縄県国際交流・人材育成財団 3Fホール
（宜野湾市伊佐4-2-16）

お問い合わせ先：国際交流課 098-942-9215

【作品募集中】 中学生・高校生の皆さん！ 作文や弁論を通して日頃思っていることを発信してみませんか！

国際連合についての主張を通して、中学生や高校生に国際理解・国際協力について考える機会を提供することを目的に「国際理解・国際協力のための中学生の作文コンクール」と「国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール」の作品を募集します。

高校生の主張コンクールに関しては昨年度、県代表に選出された球陽高等学校の比嘉こころさんが、全国大会において優秀賞に相当する「（公社）日本ユネスコ協会連盟会長賞」に輝くなど、活躍されました。応募方法は、財団ホームページから確認できます。多くの皆さんからのご応募、お待ちしております！

平成29年度

「国際理解・国際協力のための 中学生の作文コンクール」沖縄県予選 作品募集

■趣旨

中学生に対し、国際連合についての作文を通し国際理解・国際協力について考える機会を持ちます。

■テーマ

作文のテーマは次のうち1つとします。内容は学校・家庭・社会などにおける自身の学習や体験あるいは実践などを通して、国際連合について述べたものとします。（副題を付けても構いません）

- ①世界の平和と安全のために、日本が国連ですべきこと
- ②持続可能な開発のために、わたしができること
- ③世界平和のために、異なる文化への理解が果たせる役割

■応募方法

次の書類を、平成29年9月4日（月）までに郵送または持参によりご提出ください。

- ①応募申請書（ホームページよりダウンロードすることができます）
- ②原稿（400字詰め原稿用紙4枚以内）

詳しくは、ホームページ

<http://kokusai.oihf.or.jp>をチェック！

■提出先・問い合わせ先

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-2-16
（公社）沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課：葛・久田
TEL：098-942-9215 FAX：098-942-9220
E-mail：kokusai@oihf.or.jp URL：http://kokusai.oihf.or.jp



主催：（公社）沖縄県国際交流・人材育成財団
共催：沖縄県高等学校文化連盟
後援：沖縄県教育委員会・沖縄県人権擁護委員連合会
沖縄県ユネスコ協会・JICA沖縄国際センター
協力：（公社）日本国際連合協会



平成29年度

「国際理解・国際協力のための 高校生の主張コンクール」沖縄県地方大会 弁士募集

■参加資格

高等学校生徒（全日制、定時制、通信制）及び高等専門学校生徒（ただし3年まで）

■テーマ

次の1～3のいずれか1つとする。副題をつけることも可（詳しくは、募集要項をご覧ください）

- ①今日の世界において多国間主義はなぜ重要か。また国連の役割
- ②持続可能な開発のために、日本において取り組むべきこと
- ③より人権が守られる世界の実現のために、国連は何をすべきか

■応募申請締切：平成29年8月31日（木）17:00必着

■申請方法

当財団国際交流課ホームページ（kokusai.oihf.or.jp）内にある募集要項を確認し、オンラインフォームからご応募ください。

【お問い合わせ：国際交流課 098-942-9215】

沖縄県地方大会について

■開催日時：平成29年9月16日（土）13:00～

■会場：沖縄県市町村自治会館（那覇市旭町116-37）



開催レポート：グローバルリーダーシップセミナー



国際交流事業に興味を持つ中学生から大学生を対象に、参加者のグローバルマインドを育成し、自分の考えを英語や日本語で世界へ発信することのできるリーダーを育成するためのインプット・アウトプット型セミナーを平成29年5月13日（土）に沖縄科学技術大学院大学にて実施し、40名余りが参加しました。

研修の前半は、沖縄科学技術大学院大学の外国人研究者等と英語のみでコミュニケーションを図り、様々なミッションに取り組む事で、自己発信力を高めました。後半は、国際理解・協力事業に関連したトピックをテーマに取り上げ、「21世紀スキル」とされている「批判的思考力」を高める為のグループディスカッション演習を行い、物事を相手へ論理的に伝えるための基礎を学びました。

本セミナーの参加は無料で、定期的に実施しています。参加したい方や興味のある方は、ホームページをチェック！

国際交流団体イベント情報

2017年7月～9月

①日程・時間 ②場所 ③お問い合わせ先



浦添市国際交流協会

異文化学びサロン 「UIRAスポーツ交流」

- ①8月6日（日）9:30～12:00
- ②JICA沖縄国際センター

大人・子ども・外国人、年齢や言葉の壁を越えてスポーツ交流をしませんか？
「チームワーク」「フェアプレイ」笑顔＆友情！みんなが楽しめるプログラムです♪

【参加費】会員300円 一般500円
子ども200円



キッズ英語 「あそんでまなぼう！ キッズえいご」

- ①8月19日（土）13:00～14:30
- ②浦添市ハーモニーセンター

うたやダンスを踊りながら楽しくえいごをまなぼう！

【受講料】
会員300円 一般500円

※親子二人一組の値段です。大人、子ども一人追加ごとに200円プラスとなります。



ふれあい講座 ～大洋州編～

- ①8月18日（金）19:00～20:30
- ②JICA沖縄国際センター

沖縄にしながら世界を体験してみませんか？

世界の料理講座

- ①9月16日（土）10:00～13:00
- ②浦添市中央公民館 2F 調理室

いろいろな世界の「おいしい！」を知ろう！世界各国の料理を作りながら、その地域・国の文化を学ぼう！

【受講料】会員1,300円
一般2,000円



お問い合わせ先
③浦添市国際交流協会
TEL：098-879-3010

NPO法人レキオウイングス

★アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業★

南城市・伊江村・渡嘉敷村において、アジア諸国の高校生12カ国から24名と国内の高校生24名の国際交流、国際理解を通じた人材育成を目的とした事業です。事業の詳細は問合せ先までご連絡ください。



- ①2017年8月3日～8月19日
- ②JICA沖縄・糸満青少年の家・玉城青少年の家・伊江村・沖縄青少年交流の家・沖縄国際ユースホテル等
- ③NPO法人レキオウイングス
TEL : 098-943-8919 Email : info@lequiowings.org

沖縄ゾンタクラブ

チャリティーバザー

特別養護老人ホーム大名まつり会場にて、沖縄ゾンタクラブ主催で毎年恒例『奉仕資金造成ゾンタバザー』を開催！（毎年9月）

収益金は、＜車イスの寄贈、その他＞支援となります。

- ①2017年9月9日（土）PM4:30～
- ②特別養護老人ホーム大名まつり会場内
- ③特別養護老人ホーム大名内沖縄ゾンタクラブ事務所
TEL : 098-866-5070 FAX : 098-885-1186



沖縄ボリビア協会

第192回ボリビア多民族国家独立記念祝賀会



- ①8月6日（日）受付18:30 開始19:00～21:00
- ②サザンプラザ海邦（那覇市旭町7番地/ 098-862-4120）
＊料理の手配の都合上、7月31日までにお申し込みください。
- ③寺田 征（会長）090-8291-7227
松本 隆（事務局）090-6859-9134



沖縄ペルー協会

第12回チャリティーゴルフ大会

ペルーの県系人子弟への教育進学金捻出のためのチャリティーゴルフ大会です。参加予定者 250名



- ゴルフ大会 ①平成29年7月13日（木）予定 ②金秀喜瀬カントリークラブ
- 表彰式 ①平成29年7月14日（金） ②金秀本社ビル9階レストランマリーエ
- ③TEL : 090-8292-1993/ 098-868-6611

第196回ペルー共和国独立記念祝賀会

ペルー共和国の独立記念日である7月28日に関係者をお招きし、祝賀会を催します。

- ①平成29年7月28日（金）予定 ②金秀本社ビル9F レストランマリーエ
- ③TEL : 090-8292-1993/ 090-3076-0633

平成29年度外国語絵本読み聞かせ教室～参加者募集～

●目的

多文化共生社会を推進するため、県内に暮らす外国人および県民の親子を対象に、外国語による絵本の読み聞かせを通して各国の言葉や文化に親しみ、異文化交流の場を提供することを目的とします。

●対象者＆募集人数

県内在住の外国人及び県民の親子（各回）20組程度

●実施スケジュール

- 第1回 8月 6日（日）11:00～12:00 （牧志駅前ほしぞら公民館）
- 第2回 8月19日（土）11:00～12:00 （西原町立図書館）
- 第3回 8月27日（日）11:00～12:00 （沖縄市立図書館）
- ※2カ国語の絵本読み聞かせ＆講師による国の紹介やクイズも？！



参加
無料♪

●対象言語：英語・韓国語・中国語・ポルトガル語・ドイツ語等で行う予定です。

●お申込方法：当財団ホームページをご確認ください。＜<http://kokusai.oihf.or.jp/>>

●お問い合わせ先：

（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課 098-942-9215

国際交流課新ホームページ運用開始しました！

本県の多文化共生社会の推進や、国際理解・協力事業のさらなる促進に寄与するため、平成29年4月から、新たに国際交流課のホームページを開設し、運用しております。募集中の各種講座やイベント情報に加え、在住外国人のための防災ハンドブック（ダウンロード可）、各種事業案内なども掲載しております。日本語・英語・中国語（繁体・簡体）・韓国語の4カ国語対応となっており、スマートフォンやタブレットからもアクセス頂けます。本誌「いちやり場通信」のダウンロードも可能となっております。ぜひご覧ください！

国際交流課新ウェブサイト <http://kokusai.oihf.or.jp>



—新規会員募集のお知らせ—

(公財)沖縄県国際交流・人材育成財団では、本県の多文化共生社会の推進に寄与し、振興発展を担う人材育成事業や、国際性豊かな活力ある沖縄づくりを目指し、国際交流・協力事業を推進しております。当財団の趣旨や活動に賛同される方はどなたでも会員になれます。会員になりますと財団主催のイベント、講演会、セミナー等へのご案内や情報誌「いちやり場通信」を年4回、広報誌「国際おきなわ」を年1回無料でお届けいたします。

皆様のご加入をお待ちしております！！

【年会費】 個人：3,000円 団体：10,000円

★お申し込み・お問い合わせは国際交流課まで★

TEL：098-942-9215 FAX：098-942-9220 Email：kokusai@oihf.or.jp